

# 国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの  
メッセージ



## クレアでの勤務を終えて

福井市商工労働部観光文化局おもてなし観光推進課国際室 川畑 英之

クレア在籍中は、3年間で本当に多様な経験をさせていただきました。フランスにいた2年間は、日本にいる色々な人からよく「フランスどう？楽しい」と聞かれましたが、単に海外生活がとても楽しいだけでなく、仕事にも夢中になることができました。

私の場合、福井市からは初めてのクレア派遣であったということもあり、勝手ながらプレッシャーを感じていましたが、それが結果として、仕事に対して真剣に向き合うことになり、自分の成長につながった気がします。一生懸命やればやるほど、うまくいかない時に味わう悔しさやストレスも大きいですが、成果が出たときの達成感も、それまで働いてきて感じたことのないほど大きなものでした。不思議なことに今では、苦しかった思い出も含め、全ていい思い出です。

クレアの目的は、全国の自治体の国際化の支援です。その内容は多岐にわたりますが、クレアとして独自に行うものから、全国の自治体がフランスに渡航して行う活動を支援する「活動支援」など、幅広いです。私の場合ですと、現地広域行政組織の実態調査や、フランスの交通行政の調査、各種見本市などでの出展補助、旅行代理店への訪問のアテンド、伝統工芸のワークショップの補助、姉妹都市との周年事業へのアテンドなど、非常に多様な業務に関わらせていただきました。

全国の自治体を支援する立場ではありましたが、業務を通じて、多くの自治体が抱える課題意識やそれに対する取り組みに関わることができたのは、自分にとって大きな経験でした。

また、現地では、積極的にネットワーク形成に努めました。おかげで各方面からお声がけいただき、こちらからアクションをしなければ、まず発生しなかったはずの仕事をする機会を何度もいただくことができました。私の実感としてですが、行政の仕事の中でも、国際業務の

多くは、そもそも法的に絶対やらなければならないものではないため、ただ「無駄なく仕事をして生産性を高める」だけではなく、さらに「アクションを起こして自分の仕事に付加価値を与える」という姿勢が必要だと思います。そういう意味で、とにかく色んな人に名刺を渡して、フランス語で話してコネクションを作っていくという経験ができたのは、大きかったですし、自分が想像できる自治体職員の範囲を超えていて、面白かったです。

現在福井市に戻り、私の立場は変わりましたが、行政の目的は常に「市民生活をどう改善するか」ということにあり、その軸はクレアから変わっていません。派遣で得た貴重な経験を活かし、市民生活を経済的または文化的に豊かにできるよう、これからも努めていきたいと思っています。



見本市で福井の魅力 PR する様子

### プロフィール

クレア在職中の所属 (2016年4月～2019年3月)  
2016年4月～ 東京本部企画調査課 班長  
2017年4月～ パリ事務所 所長補佐  
2019年4月～ 現職